

# 2023年度 和歌山市立雑賀崎小学校スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 谷口 佳都司 作成日 2023年4月1日

## 和歌山市学校教育目標

- ・確かな学力の育成。
- ・道徳教育の充実。
- ・健やかな体の育成。
- ・特別支援教育の充実。
- ・不登校・いじめ問題の解消。
- ・子供の安全確保の徹底。
- ・地域とともにある学校づくりの推進。

## 保護者・地域の願い

- 故郷を愛し誇りに思うように育てほしい。
- 挨拶のできる小学校であり続けてほしい。
- 読解力向上に努めてほしい。
- 読書に親しむようになってほしい。
- 外遊び推奨で体力向上を図ってほしい。
- 避難訓練の計画的実施と最低限の生活技術を身に付ける体験をさせてほしい。

## 【学校教育目標】

豊かな心を持ち、たくましく生きる、知・徳・体の調和のとれた子供を育成する。

## 【めざす児童像】

- ・考える子
- ・なかよくする子
- ・たくましい子
- ・学び合える子
- ・はたらく子

## 前年度の学校評価

- 『学び合い』の取組が向上している。児童主体の授業を丁寧に続けてほしい。
- 異年齢活動「つみき活動」の成果が大きい。
- 毎日の登下校・外遊びにより基礎的な体力が身につけている。
- 保護者・地域住民を巻き込んだ活動を取り組んでおり、学校だより地域版での広報が交流・連携につながり評価できる。

## 児童の実態

- 積極的に挨拶のできる子供が減ってきている。
- 決まりを守って行動できる子供が多い。
- 日頃から上級生が幼稚園児を含め年下の子供の面倒をよく見る等、人に親切である。
- 何事にも大変真面目に取り組む。
- 読書習慣が定着していない。

## 重点目標

### 地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実。
- ◎幼小連携・接続の推進。中学校との連携。(近隣高校との連携)
- 地域の資源「ひと・もの・こと」の積極的活用の推進。

### 豊かな心の育成

- ◎異年齢集団「つみき活動」の充実。
- 体験活動「ほんもの体験」の充実。
- 道徳・人権教育の充実。
- いじめの未然防止、早期発見。
- 国際交流の計画的実施。

### 確かな学力の向上

- ◎『学び合い』の授業改善。
- 関心・意欲・態度の向上。
- 基礎学力の定着。
- 学習環境の整備。
- ユニバーサルデザイン化の拡大。

### 健やかな体の育成

- ◎基本的生活習慣の確立。
- 新しい生活習慣の確立。
- 体力向上の推進。
- 危機回避能力の育成。

## 具体的な取組

- 地域の活動に積極的に参加。各活動に準じ、めあてを持って参加。
- 幼小連携・接続の取組に雑賀崎の地域資源の活用を図る。
- 福祉、国際交流、景観、環境整備等、「ひと・もの・こと」等の地域資源を教科横断的な視点で計画し活用する。
- 学校だより及び学級だより等を定期的に発行し、学校の情報を積極的に発信する。

- 縦割り班活動「つみきグループ」の活動機会を可能な限り持つ。
- 異学年交流を通してリーダーシップやフォローシップを養う。
- 児童の自主的な「学校をより良くする」諸集会、話し合い活動の推奨。
- いじめアンケート実施、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- 発達に応じたキャリア教育の取組。

- 学力の向上
- ・各教科での学び合いと、全校「学び合い」の充実。
- ・「けいこの時間」の補充学習。
- ・授業のユニバーサルデザイン化。
- 校内研修と実践の充実。
- ・効果的な研修による資質向上。
- ・児童と向き合う環境づくり。
- ・特別支援教育の充実。児童理解に努め、学校支援体制作りの工夫を行う。

- 「早寝早起き朝ごはん」の推奨。
- 月1回「アウトメディアデー」実施。
- 休憩時間の外遊びの推奨。
- 県チャレンジランキングへの参加。
- 地域の特性に合った避難訓練や交通安全・救急救命教室等を計画的に実施。危機回避能力を育成。
- 学校保健安全委員会での児童主体の取組を図る。

## 指標

- 学校だよりや学級だより等を積極的に発行。
- 学校だより地域版の毎月発行。
- 「学校の様子がよく分かった」(保護者90%)

- 集会活動の毎月実施。
- 幼稚園との交流を毎月実施。
- 「学校が楽しい」(児童90%)

- 全国学力学習状況調査及び県学習到達度調査での無回答0を目指す。

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査等調査で県・市・全国平均を上回る。
- 「朝ごはんを食べている」(児童100%)

◎：特に重点的に取り組むこと